第１２　難しい箇所の扱い方

【暗唱聖句】

「また、わたしたちの主の忍耐深さを、救いと考えなさい。それは、わたしたちの愛する兄弟パウロが、神から授かった知恵に基づいて、あなたがたに書き送ったことでもあります。彼は、どの手紙の中でもこのことについて述べています。その手紙には難しく理解しにくい個所があって、無学な人や心の定まらない人は、それを聖書のほかの部分と同様に曲解し、自分の滅びを招いています」第二ペテロ3:15，16

【日曜日・明らかな矛盾の理由として考えられること】

テモテ二2章15節で、「…真理の言葉を正しく伝える者となるように努めなさい」とパウロはテモテに勧めています。聖書を正しく伝えることは、わたしたちにとっても大切なことです。聖書の真理の言葉を正しく伝えるためには、わたしたちは正しく聖書を理解していなければなりません。しかし、矛盾しているように感じられる箇所や難解な個所もあって、正しく理解することが難しいことも少なくありません。この理由として、有限な人間が無限の神様をすべて理解することができないという根本的な問題のゆえ、時に矛盾と感じるようなこともあること、聖書の著者はみな霊感を受けて書いていますが、人間的な間違いが起こる可能性があること、さらに遥か昔のしかも文化の異なる外国での出来事を、1000年以上もの長い年月をかけ、40人近くの人たちが書いることなども、聖書の理解を難しくしている理由の一つとなっています。また、このことが聖書を否定する人たちに都合よく用いられて、聖書がいかに信頼できない書物であるかと主張します。

　しかし、聖書の中心テーマについては難しいことはなく、子どもでも理解できるようになっています。神の愛や人間の罪の問題、天地創造、復活と永遠の命など、大切な教えは聖霊がわたしたちを導いて、正しく理解できるようにして下さいます。重箱の隅をつつくようなことをすると、サタンの罠にかかってしまう可能性があるので注意しましょう。

【月曜日・難しい箇所を正直に注意深く扱う】

歴代誌上29章17節に、「わたしの神よ、わたしはあなたが人の心を調べ、正しいものを喜ばれることを知っています」とあるように、正直に生きることの大切さを教えています。そして、「主は正しい人のために力を…備えて」（箴言2章7節）下さいます。正しい人は難しい聖句に対して、文脈を無視して都合の良いように解釈することはしません。分からないときは、曖昧な答えを出すよりも、分からないままにしておくのも手です。必要なときに聖霊が導いてくださるはずです。それが聖書研究のような場であれば、クリスチャンなのに知らないのかと思われるよりも、逆に信頼を得ることにつながっていくかもしれません。ただ、「自分自身と教えとに気を配りなさい」（テモテ一4章 16節）とあるように、自分が教えたことと生き方に矛盾のないように注意しなければなりません。

【火曜日・難しい箇所を謙遜に扱う】

「神は、高慢な者を敵とし、謙遜な者には恵みをお与えになる」ヤコブ4:6

謙遜は聖書の教える最も大切な教えの一つです。謙遜さは神様のご性質であり、高慢は悪魔から来る精神です。謙遜な人は多くのものから素直に学んで、自分の成長に活かしていくことができます。これは聖書を学ぶときも同様です。謙遜な思いを持って学べば、たくさんの恵みを吸収することができるでしょう。特に、難解な聖句を理解するにあたっては、謙遜な思いがないと素直に御言葉から恩恵を受けることができなくなってしまうかもしれません。

【水曜日・決意と忍耐】

ガラテヤ6章9節で、「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることになります」とパウロは行っています。善を行い続けるのは忍耐のいることです。しかし、たゆまず、飽きずに励んでいれば、やがて実を刈り取ることになります。それと同様に、聖書に難しい箇所があったとしても、たゆまず学び続けていくとき、やがて理解に至るようになります。難しいからといって、すぐに諦めて投げ出さないようにしなければなりません。イエス様は、「探しなさい。そうすれば見つかる」（マタイ7:7）と言われました。真理の御霊が必ず目を開かせてくださいます。探し続けること、求め続けることが大切です。

【木曜日・難しい箇所を聖書的に祈りつつ扱う】

聖書の中で、難しい聖句に直面したとき、どのように対応しているのでしょうか。使徒言行録17章 11節では、

「ここのユダヤ人たちは、テサロニケのユダヤ人よりも素直で、非常に熱心に御言葉を受け入れ、そのとおりかどうか、毎日、聖書を調べていた」と、毎日、熱心に聖書を調べていたと書かれています。また、使徒言行録15章 15節では、「預言者たちの言ったことも、これと一致しています」と、聖書の預言者の言葉を探して、教えが一致していることを確認しています。このように、彼らは聖書を熱心に調べたのです。一つの聖句が分からない場合は、同じ主題を扱っている他の聖句にも目を通してみることです。面倒がらず、答えを焦らず、祈りつつじっくりと様々な聖句から答えを求めていくとき、光が与えれることでしょう。